

平成29年 5月26日

各 位

会社名 株式会社ウェッジホールディングス
代表者名 代表取締役社長兼CEO 此下 竜矢
(コード2388 東証 J A S D A Q 市場)
問合せ先 開示担当 小竹 康博
(TEL 03-6225-2207)

GL、2017年第1四半期業績に関する解説

当社の重要な子会社でありますSET(タイ証券取引所)上場のDigital Finance会社Group Lease PCL(以下GL)は、同社がSETに開示した2017年第1四半期の財務諸表につきまして業績の解説プレスリリースを公表いたしましたので、その内容を日本語にてご紹介いたします。

(以下、GL社公表のプレスリリースの翻訳)

2017年5月16日

Group Lease Public Company Limited (以下、GL)は、2017年第1四半期の連結財務諸表および個別財務諸表に関する業績について、以下のとおりご説明させていただきます。

連結財務諸表

GLが発表した2017年度第1四半期の業績において、連結純利益は前年同期(2016年第1四半期)比で105.19百万タイバーツ増、47.35%増の327.34百万タイバーツを計上し、四半期最高益を更新いたしました。純利益増加の主な要因としては、ハイパーパーチェス利息収入の増加、アセット・バック・ローン利息収入の増加、貸付利息の増加、その他収入の増加があげられます。

1. ハイパーパーチェス利息収入は、前年同期比29.22百万タイバーツ増、6.03%増の513.92百万タイバーツを計上いたしました。これは海外における貸付額増加に伴い、子会社からの利息収入が増加したことが主な要因であり、その内訳としては、カンボジア23.41百万タイバーツ、ラオス10.41百万タイバーツ、インドネシア7.12百万タイバーツであります。但し、GL及びタイの子会社の利息収入減、それぞれ5.87百万タイバーツ分が相殺され減少となっております。これは、GLの企業戦略及びビジネスモデル「Digital Finance」に合致した結果であります。
2. アセット・バック・ローン利息収入は、前年同期比14.54百万タイバーツ増の36.14百万タイバーツを計上いたしました。これは、タイの子会社における事業拡大が表れた結果であります。

3. 貸付利息は、前年同期比 29.50 百万タイバーツ増、25.99%増の 143.02 百万タイバーツを計上いたしました。これはいくつかの商品に関連したサプライヤからの収入であります。GL 子会社は、それぞれの展開国において、売上拡大を望む販売業者（サプライヤ）に対して、事業拡大支援サービスやファイナンスサービスの提供を行っております。これは、GL グループにおける「Digital Finance」の新しいビジネスモデルであり、ハイヤーパーチェス収入に加えて、新たな収入源の柱となっております。
4. グループローン利息収入は、4.24 百万タイバーツを計上いたしました。これらは、ミャンマーにおける新子会社の商品及びインドネシアで新たに開始した商品からの収入であります。
5. その他収入は、前年同期比 30.79 百万タイバーツ増、51.35%増の 90.76 百万タイバーツを計上いたしました。その増加の主な内訳は、為替差益 15.67 百万タイバーツ増、その他利息収入 5.62 百万タイバーツ増、コンサルサービス収入 6.98 百万タイバーツ増、ハイヤーパーチェス関連その他収入 0.88 百万タイバーツ増であります。
6. サービス費及び管理費合計は、前年同期比 21.11 百万タイバーツ増、8.95%増の 257.01 百万タイバーツを計上いたしました。この主な要因は、海外事業拡大による費用増であります。但し、サービス費及び管理費の増加は、収入の伸びに比べ緩やかであり、効率的なコスト管理の結果が表れております。
7. 不良債権及び貸倒引当金は、前年同期比 5.81 百万タイバーツ増、8.16%増となりました。主な要因は貸付ポートフォリオの増加（2016 年第 1 四半期末に比べ 11.78%増）があげられます。それを受けて、会社としては保守主義の観点から新たに引当基準の設定を行いました。但し、不良債権の増加は、ポートフォリオの伸びに比べ緩やかであり、ポートフォリオの質が良い状態にあることを表しております。
8. 担保権行使資産処分による損失は、前年同期比 1.40 百万タイバーツ増、2.45%増の 58.65 百万タイバーツを計上いたしました。主な要因としては、ハイヤーパーチェス貸付残高の拡大に伴い、担保権行使件数が増加したことがあげられます。但し、ハイヤーパーチェス及びアセット・バック・ローンの貸付残高に対する担保権行使資産処分による損失の割合は、2016 年第 1 四半期末時点では 6.41%でありましたが、2017 年第 1 四半期末時点では 3.36%と減少いたしました。担保権行使資産処分による損失の増加は、ポートフォリオの伸びに比べ緩やかであり、債権回収と担保権行使により効率的な管理状態にあることを表しております。
9. 関係企業投資による持分利益は、2016 年第 4 四半期に比べ 7.14 百万タイバーツ、14.77%増加の 55.49 百万タイバーツを計上いたしました。これは、2016 年 10 月に株式 29.99%を取得し、持分利益の取込みを行っているスリランカの関係企業の好調な業績を表しております。
10. ファイナンス費用は、前年同期比 59.10 百万タイバーツ増、134.24%増の 103.12 百万タイバーツを計上いたしました。主な要因としては、2016 年第 3 四半期に発行した転換社債 130 百万米ドル及び 2017 年第 1 四半期に発行した転換社債 70 百万米ドルに対する利息費用合計 60.24 百万タイバーツを計上した結果であります。但し、平均資金調達コストは、5.60%から 5.30%に減少しております。

11. 2017年5月9日開催のGLのシンガポールの完全子会社である Group Lease Holdings PTE. Ltd. (GLH) の取締役会において、総額9.99百万米ドル(約346.61百万タイバーツ相当、2017年5月9日時点の為替レート:1米ドルあたり34.6843タイバーツにて計算)の中間配当をGLHの登記株主であるGLに対して支払うことを決議いたしました。本配当の支払いは、2017年5月17日までに実行されます。

個別財務諸表

2017年度第1四半期の純利益は前年同期比で50.53百万タイバーツ減、52.45%減の45.81百万タイバーツを計上いたしました。その主な要因を以下に説明いたします。

1. ハイヤーパーチェス利息収入は、前年同期比5.87百万タイバーツ減、1.94%減の296.56百万タイバーツを計上いたしました。2017年第1四半期末のハイヤーパーチェス貸付残高は、前年同期比で55.39百万タイバーツ、1.38%減少しました。これは、「タイ市場において新規オートバイファイナンス事業の安定性及び顧客の質を重視し、海外の新興市場において積極的に事業の創造と拡大を行う」という会社の方向性及び戦略の結果であります。顧客審査においてより厳しい基準を設定したことが、結果としてタイのポートフォリオの質の改善に繋がっております。
2. その他収入は、前年同期比9.66百万タイバーツ増、6.93%増の149.11百万タイバーツを計上いたしました。その他収入の主な内訳としては、海外子会社への貸付利息収入計86.26百万タイバーツ、ハイヤーパーチェス関連収入計33.36百万タイバーツ、経営サービス収入計21.00百万タイバーツとなりました。
3. サービス費及び管理費合計は、前年同期比32.28百万タイバーツ増、18.79%増の204.04百万タイバーツを計上いたしました。この主な要因は、海外事業拡大による費用増であります。
4. 不良債権及び貸倒引当金は、前年同期比14.48百万タイバーツ減、26.25%減の40.70百万タイバーツを計上いたしました。主な要因としては、ポートフォリオの質の改善と回収プロセスの強化があげられます。
5. 資産処分による損失は、前年同期比2.88百万タイバーツ減、5.26%減の51.92百万タイバーツを計上いたしました。主な要因としては、中古オートバイの市場価格の上昇及び担保権行使資産売却損のリスク管理をより効率的に実行したことがあげられます。
6. ファイナンス費用は、前年同期比58.20百万タイバーツ増、146.50%増の97.92百万タイバーツを計上いたしました。主な要因としては、2016年第3四半期に発行した転換社債130百万米ドル及び2017年第1四半期に発行した転換社債70百万米ドルに対する利息費用合計60.24百万タイバーツを計上した結果であります。但し、平均資金調達コストは、5.56%から4.80%に減少しております。

以 上